



HINATA stone glass

日向石硝子

石を○、ガラスを◇で表現し、それらを重ね合わせ、さらに伊勢原の象徴である大山を取り入れた七宝紋です。

大山の麓で採掘され、伊勢原の貴重な資源の一つである日向石がガラスと出会い、新たな輝きが生まれました。

この紋様は、歴史文化の繋がりを示すとともに、未来への希望を表現しています。

重ね繋がり、再び輝く。

伊勢原七宝紋



七宝柄



大山



ブランドコンセプトは、「地域の宝」。青緑に輝くガラス製品を「宝」になぞらえ表現したものであり、日向石が築いてきた歴史文化の価値をダイレクトに伝えるメッセージも含んでいます。シンボルマークには、宝を示す「七宝柄」に加え、ブランド発祥地を象徴する「大山」のモチーフを組み込み、伊勢原の地に根づく活動を示しました。地域独自の歴史文化を後世に引き継いでいくように、七宝柄にちなんだ「無限の繁栄」の意味をかけて、輝く未来への希望をロゴマークに表現しています。

七宝柄の由来となつた「七宝」とは、仏教の經典に出でてくる七種の宝のことです（金・銀・瑠璃（青い宝石）・玻璃（水晶）・しゃこ貝・珊瑚・瑪瑙）を表すと言われています。このうち「青い宝石」や「玻璃」が、青く発色した日向石やガラスの姿と重なることや（※別紙補足資料参照）、日向石が「宝」として相応しい歴史文化を持つ貴重な地域資源であることに着目し、「七宝（宝の意味）」を紐づけるロゴマーク制作に取り掛かりました。

「地域の宝」を表すロゴマーク

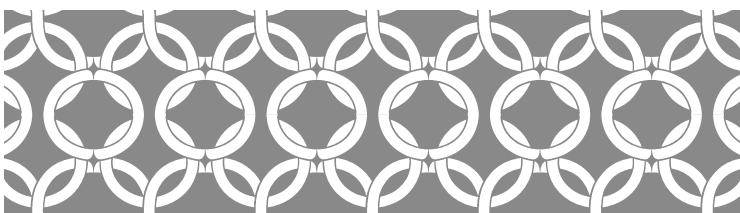
日向石硝子

下図：「しめ縄で祀られる日向石」日向石への敬意・感謝を表現したデザイン展開。

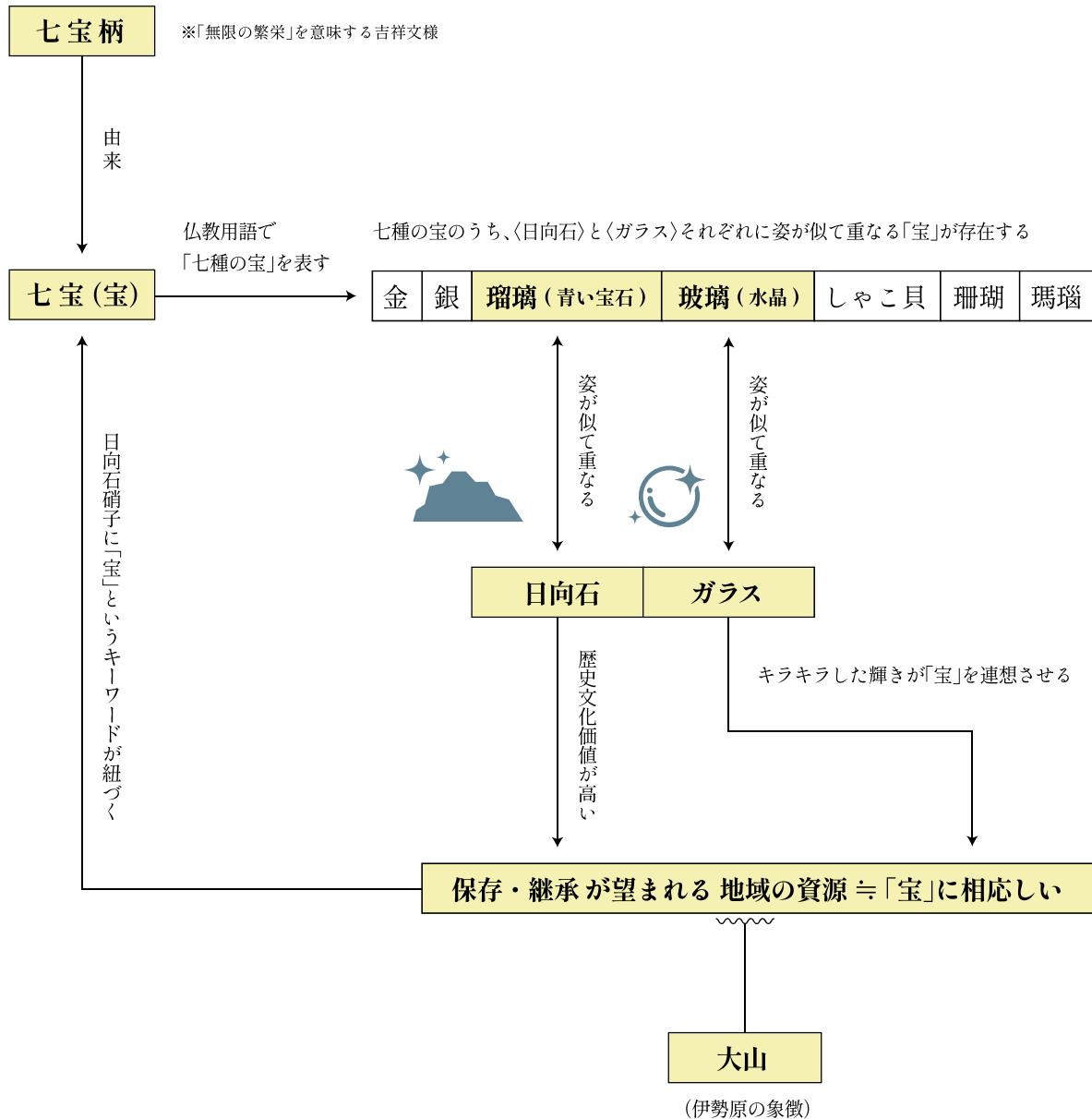


日向石

下図：「無限の繁栄（無限に広がる輪の連鎖）」ガラス質の繊細さを表現したパターン展開。



ガラス



「宝」を表すモチーフ

※七宝柄



「地域」を表すモチーフ

※地域=大山(神奈川県伊勢原市)



「地域の宝」 / 伊勢原七宝紋

シンボルマークの形態は、石(○)とガラスの輝き(◇)を重ね合わせた姿とも解釈ができる。ガラスブランドのロゴであることを初見で認知し覚えてもらえるよう、コンセプト文では文頭に上記説明を加えている。